

平成28年度決算にかかる主要な施策の
成果報告書並びに基金運用状況報告書

会 津 若 松 市

目 次

1	平成28年度主要な施策の成果報告書	1
	(1) 総括	3
	(2) 市税徴収実績	4
	(3) 一般会計	7
	第2款 総務費	8
	第3款 民生費	25
	第4款 衛生費	30
	第6款 農林水産業費	32
	第7款 商工費	34
	第8款 土木費	40
	第9款 消防費	43
	第10款 教育費	44
	(4) 「汗動・協働・創造」枠事業	49
	(5) 特別会計	79
	会津若松市国民健康保険特別会計	80
	会津若松市湊町簡易水道事業特別会計	82
	会津若松市西田面簡易水道事業特別会計	83
	会津若松市観光施設事業特別会計	84
	会津若松市下水道事業特別会計	86
	会津若松市地方卸売市場事業特別会計	87
	会津若松市扇町土地区画整理事業特別会計	88
	会津若松市農業集落排水事業特別会計	89
	会津若松市介護保険特別会計	90
	会津若松市個別生活排水事業特別会計	92
	会津若松市三本松地区宅地整備事業特別会計	93
	会津若松市後期高齢者医療特別会計	94
2	平成28年度基金運用状況報告書	95
	(1) 会津若松市板橋好雄奨学資金貸与基金	96

平成28年度 主要な施策の成果報告書

平成28年度決算における主要な施策の成果について、地方自治法第233条第5項の規定により提出する。

平成29年9月7日

会津若松市長

室井照平

総括

平成28年度の一般会計歳入歳出予算額は、当初46,857,000,000円でありました。

その後、7回の補正予算額3,153,376,000円を加え、さらに、平成27年度継続費通次繰越額260,266,000円、繰越明許費繰越額1,101,275,648円、事故繰越し繰越額42,100,063円を加えた結果、最終予算額で51,414,017,711円となりました。

これに対して決算額は、歳入49,658,046,925円、歳出47,608,991,362円で、差し引き2,049,055,563円の剰余金が生じたものです。

歳入

予算現額51,414,017,711円に対し、決算額は49,658,046,925円で、予算現額に比較し、1,755,970,786円、3.4%の減収となりました。

その主な内訳は、市税(400,763,211円)、地方交付税(581,697,000円)などの増収と、国庫支出金(△1,146,125,949円)、県支出金(△343,028,942円)、市債(△1,077,000,000円)などの減収によるものです。

なお、減収分のうち、国庫支出金870,557,000円、県支出金235,460,000円、繰入金7,623,680円、市債966,900,000円は、翌年度へ繰り越した事業の財源であり、平成29年度に事業が完了することにより収入されるものです。

歳出

予算現額51,414,017,711円に対し、決算額は47,608,991,362円で、執行率は92.6%(前年度94.5%)となり、継続費通次繰越額25,951,104円、繰越明許費繰越額2,270,193,480円、事故繰越し繰越額27,211,680円を除いた不用額は1,481,670,085円となりました。

主な不用額は、民生費605,381,451円、総務費161,679,455円、教育費158,624,999円で、効率的な執行に努めたところです。

以上、これらの予算執行を通して得られた本年度の行政施策の主な成果の概要は、次のとおりです。

市 税 徴

区 分 税 目	前年度決算額 (A)	予 算 現 額	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)
	千円	千円	千円	千円
I 普通税	15,106,987	14,820,669	15,659,650	15,223,768
1 現年度分	14,990,531	14,723,269	15,252,020	15,122,287
(1) 市 民 税	6,420,066	6,233,621	6,481,962	6,428,308
(2) 固 定 資 産 税	7,290,659	7,211,304	7,469,468	7,396,728
(3) 軽 自 動 車 税	240,305	277,357	295,043	291,704
(4) 市 た ば こ 税	1,039,501	1,000,987	1,005,547	1,005,547
2 滞納繰越分	116,456	97,400	407,630	101,481
(1) 市 民 税	52,945	42,600	120,665	44,065
(2) 固 定 資 産 税	61,518	53,000	279,795	55,820
(3) 軽 自 動 車 税	1,993	1,800	7,170	1,596
II 目的税	116,048	108,331	106,240	105,995
(1) 入 湯 税	116,048	108,331	106,240	105,995
現年度分	116,048	108,330	106,213	105,968
滞納繰越分	0	1	27	27
合 計	15,223,035	14,929,000	15,765,890	15,329,763

収 実 績

(C)の 構成比	対前年度比 (C)／(A)	未 収 入 額 (B)－(C)	調定額(B)に対する収入済額(C)の割合(徴収率)				
			28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
%	%	千円	%	%	%	%	%
99.3	100.8	435,882	97.2	97.1	96.9	96.6	96.2
98.6	100.9	129,733	99.1	99.2	99.1	99.1	99.1
41.9	100.1	53,654	99.2	99.3	99.2	99.1	99.2
48.2	101.5	72,740	99.0	99.0	98.9	99.0	99.0
1.9	121.4	3,339	98.9	99.2	99.0	99.0	98.9
6.6	96.7	0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0.7	87.1	306,149	24.9	26.0	25.0	23.4	24.4
0.3	83.2	76,600	36.5	40.2	38.0	33.9	32.9
0.4	90.7	223,975	20.0	20.0	19.1	19.3	21.3
0.0	80.1	5,574	22.3	24.6	21.5	22.4	27.1
0.7	91.3	245	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0
0.7	91.3	245	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0
0.7	91.3	245	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0
0.0	—	0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
100.0	100.7	436,127	97.2	97.1	96.9	96.6	96.2

主要な施策の成果（一般会計）

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
ふるさと寄附金等に要する経費 (総務課)	6,377				6,377
説 明					
<p>○ 寄附者が寄附しやすい環境づくりとして、WEB申込みフォームやクレジット納付の利用により、納付利便性の向上を図るとともに、寄附者に対するお礼としての返礼品に地元産品を取り揃え、寄附の一層の促進に努めました。</p> <p>〔主な経費〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クレジット納付等システム利用料 179千円 ○返礼品発送業務委託料 5,616千円 <p>〔事業実績〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○WEB申込み利用実績 85.8% (寄附者全体に対する利用件数の割合) ○クレジット納付利用実績 70.3% (同上) ○返礼品発送実績 520件 (委託による発送件数) <p>〔ふるさと寄附金(個人寄附者)の受入状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○件数 606件 ○金額 29,592,089円 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域情報化推進事業費 (情報政策課)	36,603	22,658			13,945
説 明					
<p>○ 地域情報化基本計画 「会津若松市第7次総合計画」を上位計画とし、本市の地域情報化に関する重点施策の取組内容等を明らかにした「第6次地域情報化基本計画（平成29年度～平成31年度）」の策定を行いました。</p> <p>○ 情報化推進アドバイザー 第6次地域情報化計画の策定にあたり会津大学教授にアドバイザーを依頼し、市民アンケートの分析や計画策定について専門的な視点から助言をいただきました。</p> <p>【開催実績】 平成28年度（2人×2回）：林 隆史（新潟大学教授兼会津大学客員教授） 西村 憲（会津大学上級准教授）</p> <p>○ 超高速ブロードバンド未整備地区における通信環境整備 大戸地区、湊地区、河東地区の一部における通信環境整備について地区との検討を開始しました。</p> <p>○ 公共連絡網システム利活用促進事業 本市と大熊町が共同で運営するコミュニケーションサービス「あいべあ」の運用管理・機能改善を行うとともに、市主催イベントや各団体総会等へあいべあブースを設置し出張サポートを行うなど、利用促進を図りました。</p> <p>【周知・普及活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行仁小学校PTA役員会、市区長会総会において登録依頼を実施しました。 ・消防団春季検閲式、秋季検閲式において登録作業のサポートを実施しました。 ・環境フェスタ、安心・安全フェアにおいて周知活動を実施しました。 ・初心者向けタブレット教室において周知活動を実施しました。 ・生涯学習出前講座の依頼を受け「コミュニケーションサービス「あいべあ」を使ってみよう」と題し講座を開催し、周知活動及び登録作業のサポートを実施しました。 <p>【登録利用者数】 平成28年3月31日付：7,960名 平成29年3月31日付：9,261名（1,301名の増加）</p> <p>○ 市民ICTリテラシー向上 高齢者等を対象とした「初心者向けタブレット教室」を開催しました。</p> <p>【開催実績】 日程：平成28年12月16日（金）、12月21日（水） 場所：会津大学LICTiA 2F カンファレンススペース 参加：計32名</p>					

- ICT活用連携事業
大学と連携したデータ分析講座や市民ICTリテラシーセミナーの開催など、大学内施設を活用した業務を継続して実施しました。
- ICTまちづくり推進事業
本市がモデル市町村として選定された県の補助事業「ICTまちづくり推進事業」において、ICTを活用した防災・減災に関する情報配信機能と住民の関心の高い健康増進、地域での交流促進、まちの魅力の発信、観光、地図などの日常的に利用する機能とを組み合わせ、平常時はもとより非常時にも住民が使えるローカル情報交流アプリ「ペコミン」を構築しました。

【ペコミンのできること】

- ① 現在地の周辺情報を表示（オープンデータ連携、あいべあ連携）
- ② コメント登録（利用者同士のコミュニケーション）
- ③ 通勤 通学経路等の登録（経路周辺の情報を検知して通知）
- ④ 外部サービスアプリ（ふくしま健民アプリ等）との連携
- ⑤ 各種既存システム（会津若松+、あいべあ、DATA for CITIZEN、地図サイト）との連携等

アプリの開発及び当市の既存サービスを改修することで機能の連携を実装しました。連携により蓄積されたデータ等を有効に活用できることに加え、各サービスに登録している利用者の活用が見込まれます。

【アプリ画面】



2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地方創生推進事業費（サテライトオフィス誘致事業負担金） (企画調整課)	13,600	13,600			

説明

○ 地方創生の取組の一環として、これまで使用していなかった市長公舎や、古民家・空家等をオフィスに改修し、本市での事業展開を検討する企業等に体験的に利活用していただくワークスペースを提供することにより、本市での新たなしごとづくりなどの実証の場として活用しました。

○事業経過

1. 平成27年度

平成27年12月1日 市長公舎をサテライトオフィスとして運用開始

2. 平成28年度

平成28年12月～ 旧黒河内医院の改修工事 着工

平成29年3月 旧黒河内医院の改修工事 完了

平成29年3月14日 旧黒河内医院をサテライトオフィスとして運用開始

○施設概要

1. 市長公舎サテライトオフィスの概要

場 所：会津若松市行仁町8番29号

施 設：木造2階建て 1階 112.71㎡ 2階 62.87㎡ 計 175.58㎡

1階設備：オフィススペース（会議室）×1部屋、給湯室、男女別トイレ

2階設備：オフィススペース×2部屋

駐車場：5台程度

2. 旧黒河内医院サテライトオフィスの概要

場 所：会津若松市中町1番20号

施 設：木造2階建て 1階 118㎡ 2階 71㎡ 計 189㎡ ※オフィスとして利用部分のみ

1階設備：オフィススペース（会議室）×2部屋、給湯室、トイレ

2階設備：オフィススペース×4部屋、トイレ等

駐車場：5台程度

○入居要件

対 象：首都圏等から一部機能移転等を検討する企業

期 間：原則3か月以上1年以内（ただし、1年間を限度として延長が可能）

費用負担：賃料については無料

※水道・光熱費、通信費用等については、入居企業負担

○成果

項目	K P I	実績値
サテライトオフィス体験企業数	1社	3社
参加社員数	4名	12名

※平成27年度からの累計値

2 款 総務費

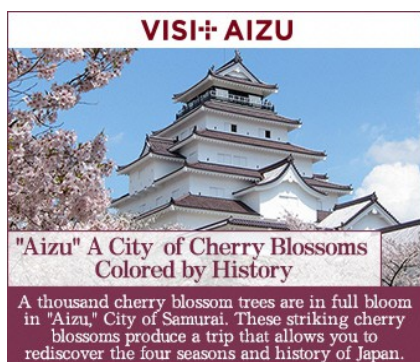
(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地方創生推進事業費（デジタルDMO整備事業負担金） (企画調整課)	13,000	13,000			

説 明

- 外国人観光客の旅行における行動が「知る→興味を持つ→来日する（体験する）→帰国後、情報発信する」というサイクルとなっていることに着目し、データ分析やレコメンド技術といったICT技術を活用したデジタルDMOにより、外国人目線の積極的な対外PRを推進しました。
- 事業概要
 - ・本市を含む7市町村（会津若松市、喜多方市、下郷町、北塩原村、西会津町、湯川村、会津美里町）の広域連携により、事業を実施しました。
 - ・インフルエンサー（海外でフォロワーの多い有名人）と連携し、会津地方の情報発信を行いました。
 - ・外国人観光客の国籍等に基づく嗜好調査を行い、その分析結果を踏まえて、外国人の国籍別にお勧めの観光コンテンツや周遊ルート等を、WEB上（Visit Aizu）にレコメンド機能により提示しました。
 - ・SNS上で、バナー広告等によるVisit Aizuの情報配信を行いました。
 - ・外国人が地方都市を訪れる際に不安を感じる「二次交通」についてオープンデータで公表している時刻表と連動したバス案内機能を提供することなどにより、外国人が会津訪問で必要となる情報をワンストップで提供しました。
- 事業実施成果
 - ・デジタルDMOサイトに登録を行った地域施設・店舗数は約515社であり、これらの事業者の情報を3カ国語に翻訳し情報配信を実施しました。
 - ・調査に基づき、外国人の嗜好性に合わせた周遊ルートを28パターン作成するとともに、ルートごとに詳細な二次交通の情報を併せて表示し、外国人観光客の不安軽減を図りました。
 - ・Visit Aizuサイト開設日（H27.2.8）からH29.3.31までの、ユーザー数は117,926、セッション数（ユーザーの訪問回数）は159,106、ページビュー数は373,694となりました。
 - ・外国語対応観光案内所利用者数／年 9,761人（H27）→14,111人（H28）

バナー広告例



2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地方創生推進事業費（デジタル情報プラットフォーム整備事業負担金） (企画調整課)	4,000	4,000			

説明

- 行政情報のみならず、地元新聞記事や地元スーパーマーケットのチラシなど、民間の情報とあわせて地域情報を一体的に提供する、インターネット上のポータルサイト「会津若松+（プラス）」の運用を行いました。
また、個人宛ての書類をWeb上で受け取ることが可能な、日本郵便㈱が提供する「MyPost（マイポスト）」の機能と連携し、市政だよりや広報議会、ごみ・資源物排出カレンダー、各種健診、各種イベントのお知らせなどの情報を配信しました。
これらによって、市民の皆様をはじめ、幅広い方々への情報提供と利便性の向上を図りました。

○ 概要

- ・ 閲覧者があらかじめ登録した各個人の属性（住所、年齢、家族構成等）や、これまでのアクセス履歴のデータを分析することで、閲覧者にとって興味関心の高い情報を優先的に表示させる「レコメンド型」の情報提供を行いました。
- ・ 「会津若松+」に、除雪車の位置情報を把握することができる「除雪車ナビ」や、母子手帳を電子化した「母子健康情報サービス」などの機能を付加しました。また、ヘルスケアの実証事業として、睡眠時間や消費カロリー、服薬状況などを見ることができるよう機能の実証を行いました。

○ 成果

目標		実績値	達成率
ID登録者数（KPI）	市民1割以上	2,900	24%
閲覧者実数	市民1割以上	34,288	284%

※H29.4.1現在 住基人口 120,665人

※両数値ともに、開設時からの累計値

- ・ 「会津若松+」で提供している情報に対して、市民の皆様などから直接意見や質問を投稿できるコメント機能により、利用者同士や市役所とのコミュニケーションの向上を図りました。
- ・ 行政情報を提供するだけでなく、地元新聞記事や地元スーパーマーケットのチラシなど、民間企業も一体となって地域情報を発信しました。
- ・ 除雪車の位置情報や母子手帳の電子化など、市民の皆様にとって感心の高い情報を可視化し、利便性を高めました。
- ・ センサーを活用したデータ収集により、睡眠時間や消費カロリー、服薬情報など健康に関する情報を可視化し、新たなヘルスケアサービスを検討する上での実証を行いました。

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地方創生推進事業費（デジタル未来アート事業実行委員会負担金） (企画調整課)	16,000	13,400			2,600
説 明					
<p>○ 映像やセンサー等の最先端の技術の高度利用によって製作されるデジタルコンテンツを活用し、子育て支援、ICTへの興味関心の醸成、地元ICT産業の振興を目的に、「Future World AIZU」を開催しました。 入場者数は7,504名であり、こどもや親世代をはじめとした来場者に対し、ICTへの興味関心の向上と、地元ICT企業のPRを図ることができました。 また、地元ICT企業によるコンテンツ開発にも取り組み、2件のコンテンツが開発・展示されました。</p> <p>○ 開催概要</p> <p>[開催期間] 平成29年3月11日（土）～29日（水） 19日間</p> <p>[開催時間] 10:00～18:00</p> <p>[開催場所] 生涯学習総合センター（會津稽古堂） 多目的ホール</p> <p>[事業主体] デジタル未来アート事業実行委員会</p> <p>[チームラボアート展]</p> <p>① グラフィティネイチャー</p> <p>② 空書 円相、無限相 / Spatial Calligraphy: Circle, Infinity Circle</p> <p>③ Nirvana (ニルヴァーナ)</p> <p>④ まだ かみさまが いたるところにいたころの ものがたり</p> <p>[体験イベント]</p> <p>① 株式会社PLISE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめての「スクラッチ」プログラミング体験！ ・スクラッチ作品のデモ、プログラミングクイズ ・はじめてのロボットづくり体験！ <p>② 株式会社アイ・シー・エス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学ぶデジタルサイネージ学習システム <p>③ 会津大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なつかしい会津の写真を集めよう <p>④ 会津若松市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等VR 体験 ・学校と家庭をつなぐ情報配信アプリケーション開発事業の紹介 ・母子健康情報サービスの紹介 ・地図作りワークショップ <p>○ 開催成果</p> <p>[入場者数] 7,504名 (KPI: 5,000名)</p> <p>[地元ICT企業によるコンテンツ開発数] 2件 (KPI: 1件)</p> <p>[世代別割合] 未就学児: 29%、小中高: 23%、大人: 44%、高齢者: 4%</p> <p>[ICTリテラシー向上] 保護者: 85% 子ども: 87%</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳													
		国県支出金	地方債	その他	一般財源										
地方創生推進事業費（I o T 推進セミナー） (企画調整課)	1,654	824			830										
説 明															
<p>○ あらゆるモノとモノがインターネットで相互に繋がり、認識や計測、制御が可能になる「I o T (Internet of Things)」の最新の取組を紹介するセミナーを開催しました。各種アンケートにより、I o T に対する関心等を把握するとともに、I o T に関する市民理解の向上と市内事業者への普及を図りました。</p> <p>○ 開催概要</p> <p>[イベント名] 会津若松市 I o T セミナー</p> <p>[開催期間] 平成29年3月17日(金) 14:00-19:00、18日(土) 10:00-15:30</p> <p>[開催場所] 会津若松商工会議所</p> <p>[主催] 会津若松市</p> <p>[共催] 会津若松商工会議所</p> <p>[基調講演] 演題 「地域モバイル I o T の推進に向けて」 講師 総務省総合通信基盤局電波部長 渡辺克也 氏</p> <p>[講演]</p> <table border="1"> <tr> <td>①ゼロアグリで稼げる農業へ</td> <td>⑥会津若松プラス【市民向け情報サービス】</td> </tr> <tr> <td>②経済産業省 I T 導入補助金について</td> <td>⑦市民健康長寿のための I o T ヘルスケア</td> </tr> <tr> <td>③ I o T による画像データ活用の世界</td> <td>⑧デジタルDMOによるインバウンド推進</td> </tr> <tr> <td>④ I o T セキュリティについて</td> <td>⑨「やる Key」が授業を変える</td> </tr> <tr> <td>⑤ I C T 活用型中山間地域の活性化</td> <td>⑩デジタルアートが創る未来</td> </tr> </table> <p>[出展社数] 8社・団体</p> <p>○ 開催成果</p> <p>[参加者数] 509名</p> <p>[アンケート結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回収数 38件 ・ I o T 認知 <ul style="list-style-type: none"> 言葉を聞いたことがあったし、意味も知っていた 71% 言葉は聞いたことがあったが、意味は知らなかった 18% 言葉も聞いたことがなかった 11% ・ 理解 <ul style="list-style-type: none"> よく分かった 49% 少し分かった 46% 変化なし 5% ・ 関心 <ul style="list-style-type: none"> すごく興味が沸いた 51% 少し興味が沸いた 46% 変化なし 3% ・ 普及 <ul style="list-style-type: none"> 広く普及してほしい 81% 少し普及してほしい 16% あまり普及してほしいくない 3% ・ 活用 <ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り入れたい 56% 機会があったら取り入れたい 44% ・ 関心をもてた・参考になったもの <ul style="list-style-type: none"> 【講演】1位 ゼロアグリ 2位 ヘルスケア 3位 顔認証、総務省、会津若松+ 【展示】1位 顔認証 2位 中山間地域 3位 補助事業 ・ イベントの評価 <ul style="list-style-type: none"> 良かった 82% 少し良かった 16% 普通 3% <p>○ K P I I C T 関連企業誘致数(累計) 15社(平成31年度まで)</p> <p>※ I C T 関連企業誘致に向けた I o T に関する市民理解の向上と市内事業者への普及を図りました。</p>						①ゼロアグリで稼げる農業へ	⑥会津若松プラス【市民向け情報サービス】	②経済産業省 I T 導入補助金について	⑦市民健康長寿のための I o T ヘルスケア	③ I o T による画像データ活用の世界	⑧デジタルDMOによるインバウンド推進	④ I o T セキュリティについて	⑨「やる Key」が授業を変える	⑤ I C T 活用型中山間地域の活性化	⑩デジタルアートが創る未来
①ゼロアグリで稼げる農業へ	⑥会津若松プラス【市民向け情報サービス】														
②経済産業省 I T 導入補助金について	⑦市民健康長寿のための I o T ヘルスケア														
③ I o T による画像データ活用の世界	⑧デジタルDMOによるインバウンド推進														
④ I o T セキュリティについて	⑨「やる Key」が授業を変える														
⑤ I C T 活用型中山間地域の活性化	⑩デジタルアートが創る未来														

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地方創生推進事業費(訪問介助理美容事業と 拠点整備事業業務委託料) (企画調整課 協働・男女参画室)	6,000	6,000			
説 明					
<p>○ 地元高等専修学校(A I Z Uビューティーカレッジ)の教育活動支援と訪問介助理美容事業との連携を図り、専門学校を核にした多世代の交流拠点づくり、雇用創出、人材育成に努めました。</p> <p>○ 事業内容 ①「A I Z Uビューティーいきいきサロン」の実施 ②「A I Z Uビューティーカレッジ」の授業内容(実習機会)の充実 ③訪問介助理美容師有資格者のスキルアップ研修の充実</p> <p>○ 事業成果 ①「A I Z Uビューティーいきいきサロン」の実施 ・来場者数：延べ360名 ・訪問介助理美容師業務従事者数：延べ93名 ②「A I Z Uビューティーカレッジ」の授業内容(実習機会)の充実 ・実習生徒数：延べ39名 ③訪問介助理美容師有資格者のスキルアップ研修の充実 ・受講者数：延べ41名 ④「小さな拠点づくり」への取組 ・NPO法人Lotus(ロータス)、NPO法人ファミリー・サポート・あいづとの連携により、多くの子育て世代が当サロンを訪れ、高齢者や子育て世代、生徒、子どもなどの多世代による交流の拠点として利活用が図られました。 ・子育て世代参加者数：延べ114名 ・子どもの参加者数：延べ137名 ・一般社団法人会津理容美容協会による訪問介助理美容事業における訪問施術件数：239件(K P I : 200件)</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地方創生推進事業費（出会いコンシェルジェ事業業務委託料） (企画調整課 協働・男女参画室)	3,700	3,700			

説 明

- 結婚を希望する独身男女の結婚を支援するため、結婚相手を求めるために必要な出会いの場を多く提供できる人材の育成に努めました。
- 事業内容
- ① ハートフルサポーター（現代版仲人）の育成
 - ② 婚活パーティーイベントスタッフの育成
 - ③ 結婚・結婚生活相談窓口の設置

個別事業	内容	実施回数等	実施結果
①ハートフルサポーター（現代版仲人）の育成	個人情報保護やプライバシー、コミュニケーションスキル等の講習により現代版仲人を育成しました。	4コマ×3回	15名育成
②婚活パーティーイベントスタッフの育成	婚活パーティーなどの出会いの場を効果的に企画・運営できる人材を育成しました。	12回	6名育成
③結婚・結婚生活相談窓口の設置	婚活や結婚に関する様々な悩み相談等に応じる窓口を設置しました。	随時	7～3月末まで計187件の相談有り

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
企画諸費（自治基本条例の制定） (企画調整課)	369				369
説 明					
<p>○ 少子高齢、人口減少が進み、地域のつながりの希薄化、税収減少による持続的な行政サービス提供への影響が懸念されるなかで、地域の実情に応じたまちづくりの必要性が高まっています。こうした背景を踏まえ、本市の自治の基本的な理念及び仕組みを定め、市民、議会及び市長等の果たすべき役割を明らかにするとともに、まちづくりに関する基本的な事項を定めた「会津若松市自治基本条例」を制定しました。</p> <p>【公布・施行】 平成28年6月29日</p> <p>【条例の構成】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 前文 (2) 第1章 総則 (条例の目的、位置付け、用語の定義) (3) 第2章 まちづくりの主体としての役割及び責務 (市民、議会・議員、市長等・市職員の役割と責務) (4) 第3章 情報共有によるまちづくり (情報の提供・共有、情報公開、個人情報保護) (5) 第4章 参画及び協働によるまちづくり (参画、コミュニティ・協働、パブリック・コメント、市民意見等への対応、審議会等) (6) 第5章 市政運営 (総合計画、行政評価、財政運営、危機管理) (7) 第6章 国、他の自治体等との連携及び協力 (8) 第7章 条例の検証 					
総合計画策定事業費 (企画調整課)	8,228				8,228
説 明					
<p>○ 平成28年6月に施行した「会津若松市自治基本条例」第16条の規定に基づき、市政の総合的かつ計画的な運営を図るための中長期的な計画の基本理念、基本目標、政策、施策等を体系的に示した「会津若松市第7次総合計画」を策定しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名 称 会津若松市第7次総合計画 ・ 策定根拠 会津若松市自治基本条例 第16条（総合計画） ・ 位置づけ 市の最上位計画 ・ 計画構成 <ul style="list-style-type: none"> 基本構想 将来に向けたまちづくりの基本的な方向性を示す構想 基本計画 市政運営にあたっての政策及び施策の体系等を明らかにする計画 実施計画 行政評価、個別計画、財政見通し、公共施設等総合管理計画、まちづくりモデルプランで構成し、総合計画の推進方法を示す計画 ・ 計画期間 平成29年度から平成38年度までの10年間 (2017年度から2026年度まで) 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
公共施設マネジメント推進事業費 (企画調整課)	35				35
説 明					
○ 事業の目的					
<p>道路や学校などの公共施設の多くは、人口が増加していた1960年代から1990年代にかけ整備されてきましたが、人口が減少傾向にある現在、その多くが建替や改修が必要な時期を迎えています。</p> <p>一方で、少子高齢化などから公共施設の利用状況も変化しており、また、多くの施設を一斉に更新することは、市民の皆様には大きな負担を求めることとなります。</p> <p>このような状況のなか、第7次総合計画に示すまちづくりを着実に進めるため、行政評価による進行管理のもと、健全な財政運営を継続しながら、まちづくりの基盤となる公共施設を維持し、適切な公共サービスを提供していきます。</p>					
○ 事業概要					
<p>公共施設の整備や維持管理、複合化、有効活用などについて、市民の皆様と共に考え、実践していく「公共施設マネジメント」の取組を進めるとともに、総務省からの「公共施設等総合管理計画」策定の要請を踏まえ、全ての公共施設等の総合的かつ計画的な管理の基本的な考え方を示す「会津若松市公共施設等総合管理計画」を平成28年8月に策定（同年10月に県経由で国へ報告）しました。</p> <p>また、会津若松市第7次総合計画の実施計画として位置づけたところであり、全庁的に公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進していきます。</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 名 称 会津若松市公共施設等総合管理計画 ・ 策定根拠 インフラ長寿命化基本計画の決定（国、平成25年11月） 公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について（国、平成26年4月） （公共施設等総合管理計画の策定要請） ・ 位置づけ 会津若松市第7次総合計画「実施計画」 ・ 主な内容 ○本市の現状と公共施設等の総合的な管理の必要性 ○公共施設等の総合的な管理の基本的な考え方 ○公共施設等の総合的な管理の推進体制と仕組み ・ 計画期間 平成29年度から平成38年度までの10年間 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域振興費（会津若松市産業資産利活用推進協議会負担金） （地域づくり課）	1,946	1,946			

説 明

- 会津地域の特色ある再生可能エネルギーや植物工場、ICT制御技術、伝統産業などの産業資産を、観光や視察受入れなど新たな切り口で利活用することにより、交流人口の増加を図り、地域に雇用や経済波及効果を創出するため、会津若松市産業資産利活用推進協議会へ負担金を支出し、前年度までに構築したデータベースや受入体制の拡充を図りながら、会津地域独自のテーマ性を持った視察プランを作成し受入を行うとともに、対応窓口一本化の試行に取り組みました。

[協議会概要]

設立年月日：平成27年5月29日

構 成：会津若松商工会議所、極上の会津プロジェクト協議会、東北電力㈱、東京電力ホールディングス㈱、エコ・パワー㈱、㈱グリーン発電会津、富士通㈱、会津乗合自動車㈱、会津トラベルサービス㈱、市（企画政策部・市民部・観光商工部）、（一財）会津若松観光ビューロー

[主な事業内容]

①産業資産素材のデータベース整備

新たな素材の発掘等、データベースの拡充を行いました。

②情報発信

平成27年12月に作成・公開したウェブサイト「会津地域産業観光ガイド」を運用し、スポット追加や新着情報の発信等、話題喚起を行いました。

また、本市のスマートシティ等の取組も含め、テーマ性を持った会津地域独自の視察プランを紹介するリーフレット「会津スタディ・ツアーガイド」を作成しました。

③視察研修の受入・ワンストップ対応窓口開設準備

産業資産を対象とした視察研修の受入を行い、ニーズに対応・コーディネートを行う受入態勢構築に向けた取組を行いました。

<視察等対応実績>

	実施日	内容	参加人数
1	5月24日	新潟市の建築事務所視察（CLT）	6人
2	7月28日	茨城県議会情報部会視察（木質バイオマス）	14人
3	9月2日	日本電機工業会視察（スマートシティ・木質バイオマス）	9人
4	10月23日	会津ファンクラブ交流イベント（水コース・漆器コース）	11人
5	11月10日	日本電機工業会視察（スマートシティ・野菜工場・会津大）	7人
6	11月10日	千葉県市原市議会視察（DMO・産業観光）	15人
7	11月24日	栃木県那須塩原市視察（スマートシティ・野菜工場）	13人
8	12月14日	岡山県真庭市視察（CLT）	1人
		合計	76人

○ 事業成果

[産業観光者数]

- 対象施設の見学者数：3,144人（KPI：7,000人（H31））
- 協議会関係事業（視察研修等）参加者数 76人

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域振興費 (會津熱中塾事業推進協議会負担金) (地域づくり課)	1,986	1,986			
説 明					
<p>○ 本市及び三島町、喜多方市が共同で取り組む「會津熱中塾」事業について、會津熱中塾事業推進協議会へ負担金を支出し、山形県高島町の「熱中小学校」の取組をはじめ、全国複数の地域において展開されている「熱中プロジェクト」と連携しながら、全国及び地域内の学習意欲の高い社会人を対象に生涯学習の場を提供する講座や各種実習を実施し、新たな人の流れの創出と人材育成に取り組むとともに、「熱中プロジェクト」のネットワークを活かしてサテライトオフィスのPRを行い、企業誘致に向けた取組を行いました。</p> <p>[協議会概要] 設立年月日：平成28年8月4日 構成：会津若松市、三島町、喜多方市</p> <p>[主な事業内容]</p> <p>① 會津熱中塾支援 會津熱中塾の講座開催、及び塾生同士の交流から自主的な活動につなげるための課外活動を支援しました。</p> <p><講座・課外活動開催実績> ・講座開催回数：8回（うちオープンキャンパス1回） 延べ参加者数：435人 ・課外活動開催回数：6回 延べ参加者数：107人</p> <p><受講者実人数> ・第一期塾生：103名</p> <p>② サテライトオフィスPR 全国の熱中小学校事業と連携・調整を行いながら、そのネットワークを活用し、本市のサテライトオフィスの取組のPR・推進を図るとともに、以下の取組を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィスPRリーフレットの作成 本市のサテライトオフィス及び會津熱中塾の取組を紹介するリーフレットを作成しました。 ・「会津若松市IoTセミナー」への出展 平成29年3月開催の「会津若松IoTセミナー」にブース出展し、會津熱中塾のPRを行うとともに、サテライトオフィス見学バスツアーを実施しました。 <p>○ 事業成果 [交流人口（受講者、講師、視察者）] ・會津熱中塾の交流人口：595人（KPI：850人（H32））</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域振興費 (中山間地域生活支援システム構築事業調査等業務委託料) (中山間地域内交通導入事業計画策定業務委託料) (地域づくり課)	4,964	2,481			2,483
説 明					
○ 湊地域をモデル地区として、中山間地域における地域課題の解決と地域活力の向上に向けた生活支援(情報配信)システムの構築及び通信網の整備、地域内交通の導入による「中山間地域づくり生活支援システム」を構築するため、必要な調査・検討を行いました。					
1. 中山間地域生活支援システム構築事業調査等業務委託料 2,976,480円 (1) 事業概要 テレビを端末として、行政情報や地域内情報の提供、地域内交通の取組との連携等を行う「生活支援システム」の導入に向け、地域住民・地域づくり団体との意見交換等を行いながら、湊地区における生活利便性やコミュニティ等に関する現状と課題、有効な生活支援サービス等について調査・整理を行い、システムの仕様や構築・実証・評価の方法、スケジュール等に関する事業計画を策定しました。					
(2) 事業期間 平成28年12月26日～平成29年3月31日					
(3) 主な計画内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「会津若松+ (プラス)」との連携による行政情報の提供 ・回覧板機能や地域イベント情報発信等の地域内情報の提供 ・災害時の緊急・防災情報の提供 ・地域内交通の予約機能と運行情報の見える化 ・既存ウェブサイトとの情報連携 					
2. 中山間地域内交通導入事業計画策定業務委託料 1,987,200円 (1) 事業概要 地域内風力発電所の電力を使用する電気自動車を活用した地域内デマンド型乗合交通の実証運行や関連サービスの実証運用に向け、地域住民・地域づくり団体との意見交換を行いながら、湊地区における交通手段等に関する現状と課題、有効な公共交通のあり方と関連サービス等について調査・整理を行い、運用の仕組みづくりや実証・評価の方法、スケジュール等に関する事業計画を策定しました。					
(2) 事業期間 平成28年12月26日～平成29年3月31日					
(3) 主な計画内容 <ul style="list-style-type: none"> ・地域内交通の運営の仕組みづくり、運行計画の策定 ・電気自動車を使用した地域内デマンド型乗合交通の無料実証運行 ・地域内直売所で販売する農産物の集荷サービスの実証運用 ・「生活支援システム」と連携した車両位置の見える化の実証運用 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳															
		国県支出金	地方債	その他	一般財源												
巡回バス運行事業費 (北会津支所まちづくり推進課)	317			317													
説 明																	
○ 合併に伴う新市の一体感の醸成と地域間の交流促進を図るため、北会津地域と市内中心部、公共施設等を結ぶ巡回バスを運行し、市民の利便性の向上に努めました。 また、当該路線が国・県の地域公共交通確保維持改善事業費補助金に該当し、運行に係る欠損額の一部に補填されたことにより、市の負担すべき額の軽減が図られました。																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">バス路線名</td> <td>北会津地域巡回バス</td> </tr> <tr> <td>バスの愛称</td> <td>ピカリン号</td> </tr> <tr> <td>1便あたりの運行距離</td> <td> 【平成27年10月1日～平成27年12月16日】 27.1km (第1便：若松駅前発着の巡回路線-西若松駅東口経由せず) 28.1km (第2～5便：若松駅前発着の巡回路線) 17.2km (第6便：若松駅前発-北会津支所着、日・祝日運休) 17.7km (冬期便：真宮南発-若松駅前着、12月～3月運行) 【平成27年12月17日～平成28年9月30日】 27.9km (第1便：若松駅前発着の巡回路線-西若松駅東口経由せず) 28.9km (第2～5便：若松駅前発着の巡回路線) 17.6km (第6便：若松駅前発-北会津支所着、日・祝日運休) 18.1km (冬期便：真宮南発-若松駅前着、12月～3月運行) ※竹田総合病院改装に伴う敷地内乗入により、運行距離増加 </td> </tr> <tr> <td>1日あたりの運行便数</td> <td>6便 (※参照)</td> </tr> <tr> <td>年間運行便数</td> <td>2,233便</td> </tr> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>28,410人</td> </tr> </table>						バス路線名	北会津地域巡回バス	バスの愛称	ピカリン号	1便あたりの運行距離	【平成27年10月1日～平成27年12月16日】 27.1km (第1便：若松駅前発着の巡回路線-西若松駅東口経由せず) 28.1km (第2～5便：若松駅前発着の巡回路線) 17.2km (第6便：若松駅前発-北会津支所着、日・祝日運休) 17.7km (冬期便：真宮南発-若松駅前着、12月～3月運行) 【平成27年12月17日～平成28年9月30日】 27.9km (第1便：若松駅前発着の巡回路線-西若松駅東口経由せず) 28.9km (第2～5便：若松駅前発着の巡回路線) 17.6km (第6便：若松駅前発-北会津支所着、日・祝日運休) 18.1km (冬期便：真宮南発-若松駅前着、12月～3月運行) ※竹田総合病院改装に伴う敷地内乗入により、運行距離増加	1日あたりの運行便数	6便 (※参照)	年間運行便数	2,233便	年間利用者数	28,410人
バス路線名	北会津地域巡回バス																
バスの愛称	ピカリン号																
1便あたりの運行距離	【平成27年10月1日～平成27年12月16日】 27.1km (第1便：若松駅前発着の巡回路線-西若松駅東口経由せず) 28.1km (第2～5便：若松駅前発着の巡回路線) 17.2km (第6便：若松駅前発-北会津支所着、日・祝日運休) 17.7km (冬期便：真宮南発-若松駅前着、12月～3月運行) 【平成27年12月17日～平成28年9月30日】 27.9km (第1便：若松駅前発着の巡回路線-西若松駅東口経由せず) 28.9km (第2～5便：若松駅前発着の巡回路線) 17.6km (第6便：若松駅前発-北会津支所着、日・祝日運休) 18.1km (冬期便：真宮南発-若松駅前着、12月～3月運行) ※竹田総合病院改装に伴う敷地内乗入により、運行距離増加																
1日あたりの運行便数	6便 (※参照)																
年間運行便数	2,233便																
年間利用者数	28,410人																
※運行状況については、バス会計年度(平成27年10月1日～平成28年9月30日)の実績 12月から翌3月までは冬期便を含め7便運行 ただし、第6便及び冬期便は、年間を通じて日・祝日運休																	
コミュニティバス運行事業費 (河東支所まちづくり推進課)	17,010			3,700	13,310												
説 明																	
○ 河東地域と市内中心部を連絡するコミュニティバスを運行し、地域間の交流促進や日常生活の利便性の向上等に努めました。																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">バス路線名</td> <td>河東地域コミュニティバス</td> </tr> <tr> <td>バスの愛称</td> <td>みなづる号</td> </tr> <tr> <td>1便あたりの運行距離</td> <td> 【平成28年4月1日～平成29年3月31日】 13.5km (1便～3便：山見町経由) 13.8km (4便～10便：山見町、リオン・ドール河東店経由) </td> </tr> <tr> <td>1日あたりの運行便数</td> <td>10便</td> </tr> <tr> <td>年間運行便数</td> <td>3,650便</td> </tr> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>19,022人</td> </tr> </table>						バス路線名	河東地域コミュニティバス	バスの愛称	みなづる号	1便あたりの運行距離	【平成28年4月1日～平成29年3月31日】 13.5km (1便～3便：山見町経由) 13.8km (4便～10便：山見町、リオン・ドール河東店経由)	1日あたりの運行便数	10便	年間運行便数	3,650便	年間利用者数	19,022人
バス路線名	河東地域コミュニティバス																
バスの愛称	みなづる号																
1便あたりの運行距離	【平成28年4月1日～平成29年3月31日】 13.5km (1便～3便：山見町経由) 13.8km (4便～10便：山見町、リオン・ドール河東店経由)																
1日あたりの運行便数	10便																
年間運行便数	3,650便																
年間利用者数	19,022人																

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																
防犯灯設置等事業費 (危機管理課)	23,488			301	23,187																
説 明																					
<p>○ 夜間における地域の防犯や通行の安全を確保し、安全で安心なまちづくりを推進するために、防犯灯を設置又は維持管理する町内会等に対し、補助金を交付しました。 また、町内会として設置できない通学路等の防犯上危険な箇所へ公設防犯灯の設置を行いました。</p>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>申請件数</th> <th>設置灯数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防犯灯設置補助金</td> <td>185</td> <td>747</td> <td>10,746千円</td> </tr> <tr> <td>防犯灯電気料補助金</td> <td>468</td> <td>11,116</td> <td>11,116千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>653</td> <td>11,863</td> <td>21,862千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※申請件数合計は重複あり</p>						内 容	申請件数	設置灯数	金 額	防犯灯設置補助金	185	747	10,746千円	防犯灯電気料補助金	468	11,116	11,116千円	合 計	653	11,863	21,862千円
内 容	申請件数	設置灯数	金 額																		
防犯灯設置補助金	185	747	10,746千円																		
防犯灯電気料補助金	468	11,116	11,116千円																		
合 計	653	11,863	21,862千円																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>設置灯数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公設防犯灯設置工事</td> <td>7</td> <td>302千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	設置灯数	金 額	公設防犯灯設置工事	7	302千円										
内 容	設置灯数	金 額																			
公設防犯灯設置工事	7	302千円																			
線量低減化支援事業費 (環境生活課)	46,439	46,435			4																
説 明																					
<p>○ 国において、「放射性物質汚染対処特措法」に基づかない除染土壌の中間貯蔵施設への受入が表明されたことにより、県の線量低減化支援事業費補助金を活用し、学校等に仮置きされていた除染土壌の掘削、積込、国が指定する積込場（下水浄化工場）までの移送等を行いました。 事業の実施にあたっては、学校や幼稚園、町内会などに除染土壌の保管状況を確認し、市内19箇所でも保管されていた除染土壌（約560m³）が最終的に中間貯蔵施設に搬出されました。 これにより、子どもの保護者や地元住民など、多くの方々の放射性物質に対する不安の解消が図られました。</p>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報紙等配布委託料 (全戸配布チラシ「除染土壌の搬出工事を行います」)</td> <td>136千円</td> </tr> <tr> <td>除染土壌搬出工事 工期：平成28年11月4日から平成29年3月27日まで</td> <td>46,019千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>46,155千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	事業費	広報紙等配布委託料 (全戸配布チラシ「除染土壌の搬出工事を行います」)	136千円	除染土壌搬出工事 工期：平成28年11月4日から平成29年3月27日まで	46,019千円	合 計	46,155千円								
内 容	事業費																				
広報紙等配布委託料 (全戸配布チラシ「除染土壌の搬出工事を行います」)	136千円																				
除染土壌搬出工事 工期：平成28年11月4日から平成29年3月27日まで	46,019千円																				
合 計	46,155千円																				

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
臨時福祉給付金及び年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費 (地域福祉課)	128,662	125,236		20	3,406

説 明

○ 臨時福祉給付金

平成26年4月の消費税率引上げ（5%→8%）に伴う低所得者への影響を緩和するため、臨時福祉給付金を支給しました。

1. 支給対象者

平成28年1月1日において住民基本台帳に記録されている方で、平成28年度分の住民税（均等割）が課税されない方（住民税が課税されている方の扶養親族等や生活保護の受給者等は除きます。）

2. 支給額

支給対象者1人につき3,000円

3. 支給人数

22,151人

4. 総支給額

66,453千円

○ 年金生活者等支援臨時福祉給付金

一億総活躍社会の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の年金受給者を支援するため、年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族基礎年金受給者向け）を支給しました。

1. 支給対象者

臨時福祉給付金の支給対象者で、平成28年5月分の障害基礎年金や遺族基礎年金等を受給している方（年金生活者等支援臨時福祉給付金（高齢者向け）を受給した方は除きます。）

2. 支給額

支給対象者1人につき30,000円

3. 支給人数

709人

4. 総支給額

21,270千円

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
障がい者総合支援給付費 (障がい者支援課)	1,850,356	1,379,769			470,587

説明

○ 障がいの種類、程度にかかわらず、地域で自立した生活が送れるように、様々な福祉サービスを提供しました。

事業名	内容	件数	金額
障がい福祉サービス費等	居宅介護、生活介護、施設入所支援等の介護給付費や自立訓練、就労移行支援等の訓練等給付費の支給	17,956件	1,514,333千円
相談支援給付費等	障がい福祉サービスの利用調整や利用計画の作成費の支給	3,675件	58,196千円
療養介護医療費	長期入院による医療的ケア及び常時介護のための療養介護医療費の支給	156件	12,074千円
補装具費	失われた身体機能を補完又は代替するための補装具費の支給	305件	28,113千円
自立支援医療費 (育成医療)	身体障がい児又は疾病により障がいが残ると認められる児童の障がいの軽減除去を図る医療費(育成医療)の支給	44件	949千円
自立支援医療費 (更生医療)	身体障がい者の障がいの軽減除去を図る医療費(更生医療)の支給	1,993件	207,148千円
合 計		24,129件	1,820,813千円

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源														
認知症対応モデル事業費 (高齢福祉課)	1,422	1,422																	
説 明																			
<p>○ 認知症を早期に発見し早期に対応するため、認知症初期集中支援チームの設置を目指し、モデル事業を実施しました。モデルチームの設置による事業の中で、早期設置に向けた課題の整理、実施手順の確認、関係機関間の情報共有を図るとともに、関係者の資質向上を図りました。</p> <p>1 実施期間 平成28年6月24日～平成29年2月28日</p> <p>2 モデルチームの設置場所 医療法人 明精会 会津西病院</p> <p>3 主な事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症初期集中支援チーム設置に向けた検討会開催 (8回開催) ・ 認知症初期集中支援モデルチーム事業実施 6ケースの相談を受け、4ケースに対して延べ11回訪問 ・ 事例検討会及び講演会等の開催 10月15日 「見える事例検討会」の講演会 82人参加 11月10日 「見える事例検討会」の体験講座 30人参加 ※ 「見える事例検討会」とは、専門分野が異なる医療及び介護関係者が、共通理解に立ち連携を図るため、事例の課題や支援策を思考ツール「マインドマップ」を利用し、視覚化する手法により検討するものです。 																			
後期高齢者医療事業費 (国保年金課)	1,606,414	232,269		43,064	1,331,081														
説 明																			
<p>○ 後期高齢者医療制度の健全な運営に資するため、福島県後期高齢者医療広域連合に対し、事務費や市の法定負担金となる療養給付費等負担金を支出しました。 また、本市の後期高齢者医療特別会計へ事務費や保険基盤安定負担金分として繰出金を支出するとともに、健康診査を実施し後期高齢者の健康増進と医療費の適正化に努めました。</p>																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">事業名</th> <th style="width: 30%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診査事業委託料</td> <td style="text-align: right;">45,236千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療広域連合市町村負担金</td> <td style="text-align: right;">42,610千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療広域連合保健事業負担金</td> <td style="text-align: right;">10,135千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療療養給付費等負担金</td> <td style="text-align: right;">1,158,549千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療特別会計繰出金</td> <td style="text-align: right;">349,884千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,606,414千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	金額	健康診査事業委託料	45,236千円	後期高齢者医療広域連合市町村負担金	42,610千円	後期高齢者医療広域連合保健事業負担金	10,135千円	後期高齢者医療療養給付費等負担金	1,158,549千円	後期高齢者医療特別会計繰出金	349,884千円	合 計	1,606,414千円
事業名	金額																		
健康診査事業委託料	45,236千円																		
後期高齢者医療広域連合市町村負担金	42,610千円																		
後期高齢者医療広域連合保健事業負担金	10,135千円																		
後期高齢者医療療養給付費等負担金	1,158,549千円																		
後期高齢者医療特別会計繰出金	349,884千円																		
合 計	1,606,414千円																		

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
子ども医療費 (こども家庭課)	604,126	316,245			287,881
説 明					
<p>○ 子どもの疾病又は負傷の治癒を促進し、子どもの保健の向上に寄与することを目的とし、子どもの医療費の一部を保護者に助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成対象者 外来・入院・調剤：0歳～18歳に到達した日以後における最初の3月31日までの者 ・ 助成対象人数 20,190人（平成28年度末現在） ・ 助成件数 279,561件 					
ブックスタート事業費 (こども家庭課)	1,352			1,352	
説 明					
<p>○ 子育てにおける絵本の読み聞かせの重要性を啓発し、子どもの心と言葉の発達及びコミュニケーション能力の育成を支援するとともに、子どもは自分が愛されていることや守られていること、大切な存在であることを体感し、まわりの大人は心安らぐ楽しい子育ての時間を過ごす環境づくりに寄与することを目的として、絵本等を配付し、絵本の読み聞かせを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 本市に住所を有する乳児及びその保護者で市が実施する4か月児健康診査を受診する方 ・ 事業内容 4か月健康診査の会場において、保護者から希望を募った絵本で、子どもに読み聞かせを行い、また、その絵本等をブックスタート・パックとして配付することで自宅での読み聞かせの継続を啓発しました。 <p><ブックスタート・パックの内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市があらかじめ選定した絵本のうちから対象者が希望する絵本1冊 ② イラスト・アドバイス集 ③ コットンバック <ul style="list-style-type: none"> ・ 配付対象者 809人 ・ 配付状況 704人 					

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
児童健全育成事業費 (こども保育課)	437,085	228,763		60,618	147,704

説 明

○ 昼間保護者のいない家庭の小学生に適切な遊びや生活の場を確保し、児童の健全な育成と保護者の就労支援を図りました。

また、平成28年4月より、こどもクラブ未設置地区である大戸地区においてこどもクラブの利用を希望する場合には、市でタクシー運行を手配し、小金井第一こどもクラブへ児童を送り、こどもクラブで過ごせる環境を整えることにより、大戸地区の児童の健全育成を図りました。

さらに、こどもクラブで勤務する放課後児童支援員等を対象とした研修会を市独自に3回開催し、こどもクラブにおける保育の質の向上を図りました。

・ 施設数 45施設(直営6箇所・委託39箇所)

・ 利用児童数 1,472名(平成28年5月1日)

4款 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
飲料水対策事業費 (健康増進課)	99,641				99,641
説 明					
○ 湊地区外水源調査業務委託		38,988千円			
<p>水道未普及地区の給水不安地区において、安全な生活用水を安定的に供給できる水源を確保するため、自然放射能探査及び電磁波探査により特定した水源としての有力箇所について、ボーリング調査により水量及び水質の調査を行いました。</p>					
<p>実施地区 5地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 湊町赤井（廻戸）地区 ・ 湊町笹山原地区 ・ 湊町笹山地区 ・ 湊町崎川（打越・居穴）地区 ・ 湊町中田（鵜ノ浦）地区 					
○ 給水施設等整備事業補助金		59,921千円			
<p>水道未普及地区の給水不安地区において、安定した給水と住民の衛生的生活を確保するため、会津若松市給水施設等整備費補助金の交付等に関する要綱に基づき、地区が行う給水施設等の整備に対し補助金を交付しました。</p>					
<p>実施地区 4地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 湊町赤井（経沢地区東側）地区 30,233千円 (前年度から繰越) ・ 湊町四ツ谷地区 11,868千円 (前年度から繰越) ・ 大戸町閘川（中村・四ッ屋）地区 4,860千円 ・ 湊町赤井（経沢地区北側）地区 12,960千円 ・ 湊町崎川（打越・居穴）地区 30,083千円 (次年度へ繰越) ・ 湊町崎川（舟木・石動木）地区 26,742千円 (次年度へ繰越) ・ 湊町四ツ谷（下ノ窪）地区 18,600千円 (次年度へ繰越) ・ 湊町赤井（穴切）地区 16,512千円 (次年度へ繰越) ・ 湊町赤井（小坂）地区 16,303千円 (次年度へ繰越) 					

4款 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳							
		国県支出金	地方債	その他	一般財源				
健康増進事業費（母子健康手帳の電子化） （健康増進課）	24,739	24,449			290				
説 明									
○ 母子健康手帳の電子化		24,739千円							
<p>市が保有する母子健康手帳に記載されている健診結果や予防接種の履歴といった母子の健康情報を、保護者がパソコンやスマートフォンで閲覧できるシステムを構築し、子どもの成長記録や予防接種のスケジュール管理、出産や子育てに関する市からの情報発信などのサービスを提供し、安心かつ利便性の高い母子健康・子育て環境を効率的に実現するための取組を実施しました。</p> <p>【主な機能】</p> <p>①乳幼児の身長・体重等、乳幼児健診記録の閲覧 ②予防接種記録の閲覧、接種記録に基づく接種予定時期のお知らせ ③妊娠・出産・子育てに関する各種サービス、イベント、情報等の配信</p> <p>サービス開始日 平成29年2月16日 登録者数 50名（平成29年3月31日現在）</p>									
健康増進事業費（フッ化物洗口） （健康増進課）	456	456							
説 明									
○ フッ化物洗口		456千円							
<p>乳歯から永久歯への生え変わりの時期にある子どもの歯質を強化し、将来の歯と口腔の健康が保たれるように支援するため、認可保育所、認定こども園、幼稚園（就学前施設）の4～5歳児、公立小学校、私立小学校の1～6年生の児童を対象としたフッ化物洗口事業に取り組みました。</p> <p>【事業内容】</p> <p>就学前施設や小学校の職員や保護者の理解を得るための事業説明会や広報を実施した。 実施施設において、フッ化物洗口液により30秒～1分間のうがいを実施した。</p> <p>【実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">実施施設数</th> <th style="width: 50%;">人数／割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就学前施設：11施設</td> <td>444人／96.1%</td> </tr> </tbody> </table>						実施施設数	人数／割合	就学前施設：11施設	444人／96.1%
実施施設数	人数／割合								
就学前施設：11施設	444人／96.1%								

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																	
農業情報化推進事業費 (スマートアグリ実証事業補助金) (農政課)	8,000	8,000																				
説 明																						
○ 施設園芸農家数や経営規模の拡大を図るため、ICTを活用した養液土耕栽培設備の導入を支援し、出荷量の増加、品質向上などの安定生産及び作業時間の省力化など、導入効果の実証事業を行いました。																						
①補助金額内訳 (千円)																						
組織名		補助金額																				
J A会津よつば あいづ西部アスパラガス生産部会		4,000																				
J A会津よつば あいづいちご生産部会		4,000																				
合計		8,000																				
②事業実施成果																						
目標		実績値	達成率																			
農産物売上額の増加 (K P I)		3%	19.5%	650%																		
※ J A会津よつばあいづ西部アスパラガス生産部会については、定植後の株養成期間のため生産実績値へは加味せず、J A会津よつばあいづいちご生産部会のみ成果を記載																						
③【参考】平成27年度に導入した事業主体の成果 (対平成26年比)																						
組織名		出荷量	反収	労働時間	販売金額	単価																
J A会津よつば あいづトマト生産部会		112%	111%	90%	137%	122%																
J A会津よつば あいづキュウリ生産部会		170%	103%	80%	117%	76%																
花職人 A I Z U		98%	98%	98%	104%	107%																
南原開発農地取得費 (農政課)	17,365					17,365																
説 明																						
○ 特用樹 (ウルシ樹) を植栽することにより、漆器産業の振興に寄与する利活用を図るため、福島県農業振興公社が所有する南原開発農地の未分譲地 (約12ha) を購入しました。																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>地目</th> <th>面積 (㎡)</th> <th>単価 (㎡)</th> <th>評価額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>畑</td> <td style="text-align: center;">118,115</td> <td style="text-align: center;">430</td> <td style="text-align: right;">50,789,450</td> </tr> <tr> <td>雑種地</td> <td style="text-align: center;">19,161</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: right;">574,830</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">137,276</td> <td></td> <td style="text-align: right;">51,364,280</td> </tr> </tbody> </table>							地目	面積 (㎡)	単価 (㎡)	評価額 (円)	畑	118,115	430	50,789,450	雑種地	19,161	30	574,830	合計	137,276		51,364,280
地目	面積 (㎡)	単価 (㎡)	評価額 (円)																			
畑	118,115	430	50,789,450																			
雑種地	19,161	30	574,830																			
合計	137,276		51,364,280																			
(各年度支払額) 3ヶ年で支払																						
平成28年度		17,365千円																				
平成29年度		17,000千円																				
平成30年度		17,000千円																				

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																																										
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																																							
会津身不知柿生産継続支援事業費 (農政課)	702				702																																							
説 明																																												
<p>○ 平成28年4月の凍霜害により被害を受けた会津身不知柿について、出荷量の減少による顧客離れを防ぐための市長メッセージを作成し、生産者から顧客へのダイレクトメールを送付する取組みを補助することで、消費者と生産者との取引の継続を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者数 のべ83名 ・総配布枚数 22,000枚 ・総事業費 701,194円 <p>市長メッセージ・封筒印刷枚数及び費用</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>作成枚数</th> <th>費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1弾(出荷前)</td> <td>2,000枚</td> <td>25,920円</td> </tr> <tr> <td>第2弾(出荷時期)</td> <td>17,000枚</td> <td>216,648円</td> </tr> <tr> <td>第2弾追加分</td> <td>3,000枚</td> <td>24,300円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22,000枚</td> <td>266,868円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※送付する時期にあわせ、異なるデザインのメッセージを作成</p> <p>郵送件数及び料金</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>単価</th> <th>件数</th> <th>料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定形25g以下</td> <td>82円</td> <td>4,385件</td> <td>359,570円</td> </tr> <tr> <td>定形50g以下</td> <td>92円</td> <td>383件</td> <td>35,236円</td> </tr> <tr> <td>定形外50g以下</td> <td>120円</td> <td>327件</td> <td>39,240円</td> </tr> <tr> <td>定形外100g以下</td> <td>140円</td> <td>2件</td> <td>280円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>5,097件</td> <td>434,326円</td> </tr> </tbody> </table>						内訳	作成枚数	費用	第1弾(出荷前)	2,000枚	25,920円	第2弾(出荷時期)	17,000枚	216,648円	第2弾追加分	3,000枚	24,300円	合計	22,000枚	266,868円	区分	単価	件数	料金	定形25g以下	82円	4,385件	359,570円	定形50g以下	92円	383件	35,236円	定形外50g以下	120円	327件	39,240円	定形外100g以下	140円	2件	280円	合計		5,097件	434,326円
内訳	作成枚数	費用																																										
第1弾(出荷前)	2,000枚	25,920円																																										
第2弾(出荷時期)	17,000枚	216,648円																																										
第2弾追加分	3,000枚	24,300円																																										
合計	22,000枚	266,868円																																										
区分	単価	件数	料金																																									
定形25g以下	82円	4,385件	359,570円																																									
定形50g以下	92円	383件	35,236円																																									
定形外50g以下	120円	327件	39,240円																																									
定形外100g以下	140円	2件	280円																																									
合計		5,097件	434,326円																																									
広葉樹林再生事業費 (農林課)	8,373	8,373																																										
説 明																																												
<p>○ 放射性物質濃度の指標値50Bq/kgを越えるきのこ原木用の広葉樹を皆伐・搬出して、天然更新により萌芽した枝の放射性物質調査等を実施し、将来的なきのこ原木林の再生に向けて、広葉樹林の整備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所 : 湊町大字原地内民有林 ・実施面積 : 1.67ha 																																												
里山整備生活安全対策事業費 (農林課)	2,062				2,062																																							
説 明																																												
<p>○ 野生鳥獣による農作物被害防止のため、市の電気柵購入補助制度により農家等の電気柵の普及を図りました。</p> <p>また、地区等へ木材チップを貸し出し、伐採後の小径木を破砕したチップを電気柵の周囲へマルチング材として敷くことで、里山の景観改善や野生鳥獣による農作物被害の防止に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵購入補助件数：34件 ・木材チップ(1台)貸出件数：7件(貸出日数39日間) 																																												

7款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
会津ブランド推進事業費 (会津ブランドものづくりフェア実行委員会負担金) (商工課)	7,400				7,400

説明

- 会津地域の「ものづくり」を広くPRするとともに、ものづくりの楽しさと素晴らしさを体験できる機会を提供し、伝統工芸産業・地場産業を中心としたものづくり産業の振興と理解促進を目的として、「会津ブランドものづくりフェアinまちなか2016」を開催し、28年度は長期間に渡って他のイベントと連携しながらまちなかで開催することで、さらなる地域産業の活性化と地域ブランドの発信を目指し、述べ1万5千人の来場がありました。

[会 期] 平成28年10月1日（土）～11月6日（日）

[会 場] 会津稽古堂、鶴ヶ城体育館 等

[来場者数] 15,250人

[主な催し]

◎あいづ伝統工芸フェア

会津稽古堂（平成28年10月21日（金）～10月23日（日））

①会津伝統工芸士の作品展示と職人のパネル紹介

②あいづものづくりコンテスト

以下3部門ごとに最優秀賞を選定

・伝統的工芸品指定技術による会津塗 ・会津塗 ・会津地域の伝統的工芸品

③会津の伝統工芸品によるコーディネート展示

④会津塗、会津本郷焼、奥会津編み組細工のパネルによる紹介

⑤会津漆器技術後継者訓練校の生徒作品の展示

⑥伝統工芸体験（漆器訓練校の生徒が10/22のみ実施）

※共催イベントとして会津大学ゼミによる会津伝統工芸ゆるキャラコンテスト表彰式

◎会津食と技の祭典

鶴ヶ城体育館（平成28年10月29日（土）～10月30日（日））

①会津地域の伝統工芸品の販売（屋内）

・会津漆器・喜多方漆器・会津本郷焼・奥会津三島編み組品ごとに計11ブース展開

②親子で参加できるものづくり体験教室（屋内）

・蒔絵体験・本郷焼絵付け体験・編み組細工ストラップづくり 等

③会津清酒の日のPRや酒蔵（杜氏）のパネル表示、試飲・販売（屋内）

④会津地域内で活躍する企業の技術・製品紹介とワークショップ（屋内）

⑤会津地域の名産品の紹介・販売（屋内）

・食品製造事業所の紹介・販売・会津ブランド認定品の展示 等

⑥ゆかりの地紹介コーナー（屋外）

・青森県むつ市 ・神奈川県横須賀市

⑦道の駅による会津地域の地場産品の販売（屋外）

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
次世代型食品生産トライアル事業費 (桜咲く会津プロジェクト実行委員会特別負担金) (商工課)	9,211	9,211			
説 明					
<p>○ 生産コスト縮減や農産物の機能性等を向上させる新たな生産技術の実証事業を行うため、東京農業大学及びイオンリテール株式会社との産学官連携協定を活かし、農産物の試験栽培を通して土壌状況や生育情報等の生産にかかわるデータ収集や、流通に関する時間・温度管理などのデータ収集と解析を行いました。 また、首都圏のイオン2店舗において常設販売コーナーを設置し、農産物の販売を通じたマーケティング調査を行いました。</p> <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験栽培品目：トマト、ミニトマト、キュウリ、ロマネスコ、スナップエンドウの5品目 ・データ収集項目：①環境データ、②生産データ、③流通環境データ、④売場環境データ、⑤各種土壌分析データ、⑥各種成分分析データ ・東京農業大学との勉強会及び研究会の開催：計14回 ・試験圃場及び公設市場の視察や指導：計7回 <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に取得したデータを東京農業大学が分析し、その結果を栽培に活用したことにより、トマト及びミニトマトの糖度向上を図ることができました。 平成27年度のトマト糖度(4.5度) → 平成28年度(7度) 食味値が前年比56%アップ 平成27年度のミニトマト糖度(6.9度) → 平成28年度(8.4度) 食味値が前年比22%アップ ・流通面においては、データ分析により判明した鮮度劣化の原因(流通時間、保管状態)の改善を図ることにより、消費者や商品バイヤーから高い評価を得ることができました。 					
企業誘致促進事業費 (企業立地課)	161,215			16,100	145,115
説 明					
<p>○ 産業振興や雇用の拡大、定住人口の増加など地域経済の活性化を図るため、積極的な企業訪問による誘致活動に取り組み、そのネットワークを拡大しました。 また、雇用等の要件を満たした企業に対する企業立地奨励金や、会津若松河東工業団地及び会津若松徳久工業団地への立地企業に対する用地取得助成金など各種支援制度を活用するとともに、工場設置融資制度の預託などを通じ、企業の操業を支援することで本市工業の振興を図りました。</p> <p>1. 企業立地奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数 2件 ・交付金額 1,393千円 <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①株式会社羅羅屋 631千円 ②アイネット株式会社 762千円 <p>2. 用地取得助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数 2件 ・交付金額 141,200千円 <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①株式会社サンブライト 29,167千円 ②株式会社会津コスモス電機 112,033千円 <p>3. 工場設置融資制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預託額 16,100千円 					

7款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
ICTオフィス環境整備事業費 (企業立地課)	416,613				416,613
説 明					
<p>○ ICTオフィス環境整備事業の用に供するため、JT跡地を取得しました。</p> <p><取得物件の概要> 所在 : 会津若松市東栄町118番 地目 : 宅地 取得面積 : 9,496.97㎡ 取得金額 : 415,967,286円 取得の相手方 : 日本たばこ産業株式会社 取得時期 : 平成28年12月16日</p> <p>○ ホルダー企業予定者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式を採用し、ICTオフィス環境整備事業に係るホルダー企業予定者選定委員会を開催しました。 また、事業スキームや募集要項作成など事業に係るマネジメントについて、官民連携に係る有識者のアドバイスを受けながら検討を進め、効果的な事業スキームの構築を目指しました。</p> <p><ICTオフィス環境整備事業に係るホルダー企業予定者選定委員会の開催> ・選定委員8名 公立大学法人会津大学、会津若松市金融団、福島県司法書士会 会津支部、会津若松商工会議所、福島県建築士会 会津支部、市企画政策部、市建設部、市観光商工部</p> <p><官民連携アドバイザー> ・東洋大学大学院 客員教授2名 ・協議回数 7回</p> <p>○ 選定委員会においてホルダー企業予定者を選定し、新会社の設立やICTオフィス環境整備事業の総合的な運営を担う2社と、事業の円滑な実施に必要な基本的事項を定めた基本協定を締結しました。</p>					

7款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光振興事業費（会津まつり協会負担金） （観光課）	71,962			5,000	66,962
説 明					
<p>○ 会津まつり協会に対して負担金を支出し、まつりやイベント等の開催によるにぎわいの創出や地域の振興を図りました。</p> <p>1. 会津まつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間：平成28年9月23日（金）～25日（日） ・ 提灯行列、会津磐梯山踊り、日新館童子行列、鼓笛隊パレード、会津藩公行列を実施しました。 ・ 東京ディズニーシー開園15周年記念による鼓笛隊パレードへのディズニーキャラクター参加や、女優・綾瀬はるかさんの3年連続となる会津藩公行列へ特別参加により、観客数は昨年より34,200人多い243,700人となりました。 <p>2. 鶴ヶ城さくらまつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間：平成28年4月8日（金）～5月8日（日） ・ 開催イベント：十楽、植木市、大撮影会、子ども神輿、大茶会、会津清酒で花見酒など ・ 入込み数：230,707人 ・ 春の鶴ヶ城ライトアップ期間に鶴ヶ城で行われる各種イベントを鶴ヶ城さくらまつりと総称し、一体的に広報を行うことで、相乗的な集客を図りました。 <p>3. 会津絵ろうそくまつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間：平成29年2月10日（金）～11日（土） ・ 入込み数：26,450人 ・ 新たな取組みとして、グリーンベルト内の雪道に、絵ろうそくで飾り付けた「ぬくもり小道」を設け、幻想的な雰囲気づくりに努めました。 <p>4. 体感！光の杜ミュージアム（アイズテラス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冬季の観光誘客を目的に、鶴ヶ城本丸において体験型イルミネーション、麟閣ライトアップなどの独自性のあるイルミネーションを行いました。 ・ 期間：平成29年2月12日（日）～3月11日（土） ・ 入込み数：8,000人 <p>5. 歳の神事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東山温泉観光協会との共催により、小正月の伝統行事の継承、並びに市民交流の場となるよう歳の神を実施しました。 ・ 観客数：800人 					

7款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光振興事業費 (会津若松観光ビューロー補助金) (観光課)	35,376				35,376

説明

○ 一般財団法人会津若松観光ビューローに対して、観光振興及び物産振興に資する事業に対して補助を行いました。

1. 観光案内所管理運営業務

観光案内所の管理運営と観光案内の機能充実に努めました。

案内所	28年度案内件数	うち外国人観光客数	27年度案内件数	うち外国人観光客数
会津若松駅案内所 (V案内所)	55,065人	2,281人	53,399人	1,472人
飯盛山観光案内所	15,943人	109人	16,760人	83人

2. ボランティアガイドの運営

市民ボランティアガイドの運営により、親切丁寧な観光案内に努めました。

28年度実績	鶴ヶ城ガイド	まちなかガイド	講話ガイド	飯盛山ガイド	御薬園ガイド	駅からガイド	合計
件数	5,156件	58件	7件	740件	1,776件	93件	7,830件
利用者数	44,809人	1,631人	422人	7,029人	9,063人	224人	63,178人

3. 物産推進事業

関係団体と連携した各種物産展への参加や観光PR事業と共同した物産PR事業を実施しました。

- ・ 鉄道事業者など関係団体との連携事業
「ハイウェイフェスタとうほく2016」「東武ファンフェスタ」等
- ・ 各種観光PR事業との連携事業
「福島⇄東京キャンペーン」「ふくしま大交流フェア」「第29回福島物産展」等

4. PR活動事業

HPや各種観光パンフレットにより本市観光情報の発信に努めました。

- ・ HP会津若松観光ナビの運営
- ・ 観光パンフレットや観光マップ等の作成、PR

5. 会津若松市観光大使事業

・ 「会津キャンペーンクルー」の派遣をとおして、本市のイメージアップと観光PRに努めました。(派遣回数27回)

- ・ 観光大使事業の運営により、本市の魅力発信に努めました。(平成28年度21名委嘱)

6. 会員交流事業

会員相互の連携と情報共有化のため、連絡協議会の開催や情報誌の発行を行いました。(会員数299名 平成29年3月現在)

- ・ 連絡協議会 2回開催
- ・ 会報誌発行 9月、1月

7. 手ぶらでまちなか観光事業

東山温泉観光協会・芦ノ牧温泉観光協会との連携により、会津若松駅でのお客様の手荷物を預かり、両温泉の宿泊施設までお届けするサービスを提供しました。(利用件数4,852件)

8. 営業・販売促進活動

本市全体の観光誘客に向けた独自の営業活動を行い、PRに努めました。

- ・ キャラバン及びエージェント等への営業活動12回 (首都圏、仙台、北陸、関西等)

7款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
国際観光推進事業費 (外国人サイクリストトライアルライド事業委託料) (多言語ホームページリニューアル委託料) (観光課)	6,383	5,106			1,277
説 明					
○外国人サイクリストトライアルライド事業委託料 平成29年4月に浅草から会津田島まで東武新型特急リバティ会津が乗入れることから、首都圏からの外国人誘客を促進するため、「サイクリング」をテーマに、首都圏在住の外国人サイクリストを招聘し、実走を含むトライアルライド、地元事業者との意見交換会、及びトライアルライド参加者へのアンケート調査を実施しました。					
<ul style="list-style-type: none"> ・委託先：東武トップツアーズ株式会社会津若松支店 ・委託料：4,557,600円 ・招聘者：10名 					
○多言語ホームページリニューアル委託料 現行の多言語観光ホームページについて、外国人を引き付けるページデザインへの変更などのリニューアルを行うとともに、新たにタイ語対応のページを追加しました。また、HPのほか、Facebookアカウントも作成し、情報発信を行うことで、HP閲覧者数向上に努めました。					
<ul style="list-style-type: none"> ・委託先：DHE株式会社 ・委託料：1,825,200円 ・言語数：6言語（日・英・中（繁・簡）・韓・タイ） ・公開日：平成29年3月17日 ・PV数：4,072PV（平成29年3月31日現在） 					

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																								
建築確認に要する経費 (大規模建築物耐震補強設計支援事業補助金) (都市計画課)	5,040	4,200			840																								
説 明																													
○ 耐震診断が義務化された対象建築物のうち、耐震診断を実施した結果耐震性能が不足しているものに対し、建築物の耐震化を図るため、耐震補強設計費用を支援しました。																													
・大規模建築物耐震補強設計																													
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>事業量</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震補強設計</td> <td>1件</td> <td>5,040千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1件</td> <td>5,040千円</td> </tr> </tbody> </table>		内 容	事業量	金 額	耐震補強設計	1件	5,040千円	合 計	1件	5,040千円																	
内 容	事業量	金 額																											
耐震補強設計	1件	5,040千円																											
合 計	1件	5,040千円																											
		他に次年度への繰越		33,975千円																									
除排雪対策事業費 (道路維持課)	777,005	24,739	5,300	29,352	717,614																								
説 明																													
○ 冬期交通の安全確保を目的に、除排雪対策、雪害対策を実施しました。																													
1. 委託料																													
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>事業量</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路除雪等業務</td> <td>830.2km</td> <td>549,951千円</td> </tr> <tr> <td>間口除雪業務</td> <td>2件</td> <td>1,028千円</td> </tr> <tr> <td>消雪施設整備管理業務</td> <td>25.9km</td> <td>23,652千円</td> </tr> <tr> <td>防雪柵設置・撤去業務</td> <td>5.8km</td> <td>24,271千円</td> </tr> <tr> <td>自家用電気工作物保安管理業務</td> <td>2件</td> <td>294千円</td> </tr> <tr> <td>運行管理システム導入業務委託</td> <td>1式</td> <td>10,640千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>609,836千円</td> </tr> </tbody> </table>		内 容	事業量	事業費	道路除雪等業務	830.2km	549,951千円	間口除雪業務	2件	1,028千円	消雪施設整備管理業務	25.9km	23,652千円	防雪柵設置・撤去業務	5.8km	24,271千円	自家用電気工作物保安管理業務	2件	294千円	運行管理システム導入業務委託	1式	10,640千円	合 計		609,836千円		
内 容	事業量	事業費																											
道路除雪等業務	830.2km	549,951千円																											
間口除雪業務	2件	1,028千円																											
消雪施設整備管理業務	25.9km	23,652千円																											
防雪柵設置・撤去業務	5.8km	24,271千円																											
自家用電気工作物保安管理業務	2件	294千円																											
運行管理システム導入業務委託	1式	10,640千円																											
合 計		609,836千円																											
2. 工事請負費																													
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>事業量</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防雪柵設置工</td> <td>38.0m</td> <td>7,007千円</td> </tr> <tr> <td>雪捨場整地工事</td> <td>2箇所</td> <td>2,473千円</td> </tr> <tr> <td>消雪施設設備補修工事</td> <td>3箇所</td> <td>993千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>10,473千円</td> </tr> </tbody> </table>		内 容	事業量	事業費	防雪柵設置工	38.0m	7,007千円	雪捨場整地工事	2箇所	2,473千円	消雪施設設備補修工事	3箇所	993千円	合 計		10,473千円											
内 容	事業量	事業費																											
防雪柵設置工	38.0m	7,007千円																											
雪捨場整地工事	2箇所	2,473千円																											
消雪施設設備補修工事	3箇所	993千円																											
合 計		10,473千円																											
3. 備品購入費																													
		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>事業量</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>除雪車</td> <td>1台</td> <td>13,446千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>13,446千円</td> </tr> </tbody> </table>		内 容	事業量	事業費	除雪車	1台	13,446千円	合 計		13,446千円																	
内 容	事業量	事業費																											
除雪車	1台	13,446千円																											
合 計		13,446千円																											

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
舗装及び改良事業費 (道路建設課)	79,826	38,911	32,300		8,615

説 明

- 交通渋滞の解消、経済活動・観光産業の活性化促進、生活環境の改善を図るため、幹線市道の道路網整備等を行いました。また、高齢者や障がい者などの通行を安全なものとし、快適なくらしの創出のために歩道の整備を行いました。

1. 工事請負費

工種	区分	路線数	事業量	事業費
舗装及び改良工	1級市道	4路線	914.3m	28,540千円
	2級市道	2路線	622.8m	25,032千円
合計		6路線	1,537.1m	53,572千円

他に次年度への繰越 7,230千円

2. 委託料

内容	事業量	事業費
測量設計業務委託	4件	24,741千円
合計	4件	24,741千円

公園施設長寿命化事業費 (花と緑の課)	68,361	34,083	32,400		1,878
------------------------	--------	--------	--------	--	-------

説 明

- 都市公園の既存施設について、進行する老朽化に対する安全強化のため、公園施設長寿命化計画に基づき、改修を行いました。

1. 事業内容

内容	事業量	事業費
会津総合運動公園わんぱく広場遊具更新工事	3基	59,364千円
鶴ヶ城公園廊下橋改修実施設計業務委託	1件	7,506千円
鶴ヶ城体育館照明設備改修工事实施設計業務委託	1件	1,491千円
合計		68,361千円

8款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
公営住宅大規模改善事業費 (建築課)	54,198	17,698	36,400	0	100

説明

- 長期的に使用可能な耐火構造住宅のうち、施設の更新時期にある住宅(概ね耐用年数の過半前後)を対象に、外壁の改修や電気設備・給排水設備を改善し、安全性と住環境の向上を図りました。

・ 工事請負費

実施箇所	内容	事業量	事業費
居合団地 第4棟 4階建て 24戸 (S49年建設)	建築工事	外壁等改善：モルタル劣化部補修・塗装1,109㎡ 屋上防水改善：断熱シート防水518㎡ 手摺改善：各戸バルコニー・窓 縦樋改善 等	24,803 千円
	電気設備工事	電源容量改善：各戸分電盤・引込開閉器盤1面 テレビ共聴設備改善：アンテナ1組・増幅器1台 電話設備改善：各戸モジュラジャック 保安器盤1面 等	9,018 千円
	給排水衛生 設備工事	給水設備改善：メーターユニット交換 給水管更生 排水設備改善：各戸・共用排水管布設替え 便所内改修：各戸洋風便器設置、手摺設置 等	20,377 千円
合 計			54,198 千円

9 款 消防費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源														
消防施設整備費 (危機管理課)	73,088		56,900	9,784	6,404														
説 明																			
○ 市民の生命、身体及び財産を火災から守り、安全で安心なまちづくりを推進するために、消防施設の整備を図りました。																			
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">内 容</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第11分団基幹消防屯所新築工事</td> <td>20,550千円</td> </tr> <tr> <td>第12分団大戸町閘川入小屋地区防火水槽新設工事</td> <td>12,040千円</td> </tr> <tr> <td>第19分団消防ポンプ自動車更新</td> <td>19,440千円</td> </tr> <tr> <td>第10分団小型動力ポンプ更新（東神指）</td> <td>1,804千円</td> </tr> <tr> <td>消火栓新設工事及び修理</td> <td>15,132千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td>68,966千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	金 額	第11分団基幹消防屯所新築工事	20,550千円	第12分団大戸町閘川入小屋地区防火水槽新設工事	12,040千円	第19分団消防ポンプ自動車更新	19,440千円	第10分団小型動力ポンプ更新（東神指）	1,804千円	消火栓新設工事及び修理	15,132千円	合 計	68,966千円
内 容	金 額																		
第11分団基幹消防屯所新築工事	20,550千円																		
第12分団大戸町閘川入小屋地区防火水槽新設工事	12,040千円																		
第19分団消防ポンプ自動車更新	19,440千円																		
第10分団小型動力ポンプ更新（東神指）	1,804千円																		
消火栓新設工事及び修理	15,132千円																		
合 計	68,966千円																		
地域防災組織育成事業補助金 (危機管理課)	2,000			2,000															
説 明																			
○ 一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）を活用して、自主防災組織である慶山自主防災会に対し、地域の防災活動に必要な放送設備の整備に対する補助を行いました。																			
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">内 容</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域防災組織育成事業補助金</td> <td>2,000千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	金 額	地域防災組織育成事業補助金	2,000千円										
内 容	金 額																		
地域防災組織育成事業補助金	2,000千円																		

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
あいづっこ学力向上推進事業費 (学校教育課)	2,049			2,049	
説 明					
<p>○ これまでの学力向上推進の取組の更なる充実を図るため、平成29年度から平成38年度までの10年間の展望した新たな視点での「あいづっこ学力向上推進事業」の実施に向けた準備・検討期間として、その導入に向け「あいづっこ学力向上推進計画」の策定を行うとともに、骨格となる事業について、その効果及び課題等を検証すべく、先行型モデル事業を実施しました。</p> <p>[実施事業]</p> <p>1. 会津若松市学力向上推進委員会</p> <p>これまでの全小中学校の代表で組織する「学校教育指導委員会」に加え、本市の児童生徒の学力向上を目指す全市的な取組を加速させるため、有識者による会津若松市学力向上推進委員会を設置し、学校・家庭・地域、教育委員会及び関係機関等が連携した実践的施策を含めた学力向上策について検討を行いました。</p> <p>2. 先行型モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返り・繰り返し確認事業 <p>中学校の英語と数学の2教科について「定着確認シート」を活用し、基礎的学力の向上を図りました。</p> <p>対 象： 中学校 1年生・2年生・3年生</p> <p>活用回数： 延べ 6回配布</p> ・ チャレンジ事業（学力向上支援事業補助金） <p>児童・生徒の学習意欲を促進し、挑戦することの楽しさや充実感等を養うため、各種技能検定の受検機会の拡大を図るべく検定料の補助を実施しました。</p> <p>対 象： 小中学校 全児童生徒</p> <p>受検者数： 867人</p> <p>対象検定： 実用英語技能検定、実用数学技能検定、日本漢字能力検定</p> <p>補助内容： 1検定受検につき 1,000円</p> 					

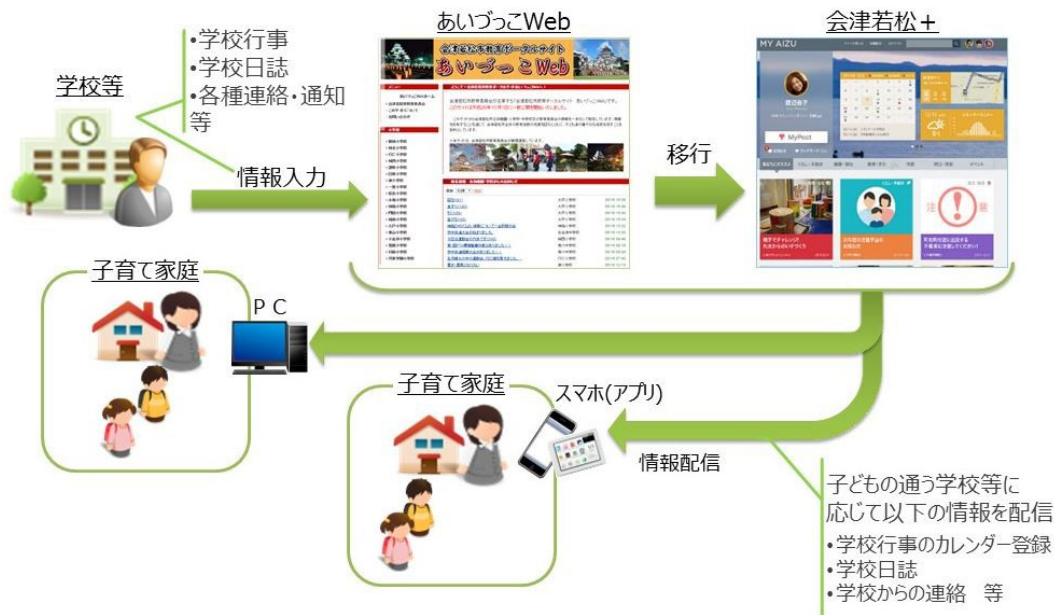
10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域とつながる教育支援事業費 (学校教育課)	7,907	7,893			14

説明

- ICTを活用した教育環境の充実を目指すため、家庭と学校をつなぐツールとして「子どもの行事管理アプリ」を作成し、これまで紙媒体で配布してきた学校だより等をPDFデータで送付することにより、学校と家庭のコミュニケーション強化を図りました。
導入にあたっては、作業を効率的に実施するため、市立の幼稚園・小学校・中学校及び教育委員会の情報配信サイト「会津若松市教育ポータルサイトあいつっこWeb」において提供される学校行事情報等を、「会津若松+（プラス）」に移行し、「会津若松+（プラス）」から、アプリケーション登録者である保護者等の属性情報に応じた情報配信システムの構築を行いました。



鶴城小学校プール改築事業費 (27～28年度継続) (学校教育課)	76,696		72,800		3,896
---	--------	--	--------	--	-------

説明

- 平成27年度からの継続事業として、鶴城小学校のプール建設工事を実施しました。

[経費内訳]

- プール建設工事にかかる経費

内容	事業費
プール新設工事	59,552千円
プール電気設備工事	4,310千円
プール給排水衛生設備工事	12,834千円
合計	76,696千円

鶴城小学校改築事業費 (教育総務課)	99,416		99,100		316
-----------------------	--------	--	--------	--	-----

説明

- 鶴城小学校のグラウンド整備工事を実施しました。鶴城小学校の建設事業は、プール建設工事及びグラウンド整備工事の竣工により、すべて完了しました。

[経費内訳]

- グラウンド整備工事にかかる経費

内容	事業費
グラウンド整備工事	99,416千円

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
学校施設耐震化事業費 (教育総務課)	313,765	96,736	200,500		16,529

説明

- 学校施設の耐震化を図るため、耐震基本計画の策定及び耐震補強工事の実施設計並びに耐震補強工事を行いました。耐震化工事とともに、窓ガラスへの飛散防止フィルムの施工等、非構造部材の耐震化も実施し、強度の地震にも耐えられる建物となりました。

[経費内訳]

1. 小学校における耐震化事業費

- 耐震基本計画策定及び耐震補強工事の実施設計にかかる経費

学校名	内容	事業費
神指小学校	校舎東棟耐震基本計画策定業務委託	3,542千円
一箕小学校	北棟耐震補強工事实施設計業務委託	4,623千円
合計		8,165千円

- 耐震補強工事にかかる経費

学校名	内容	事業費
城西小学校	南棟耐震補強工事	133,121千円
	南棟耐震補強電気設備工事	11,362千円
	南棟耐震補強機械設備工事	15,120千円
	南棟1階教室外間仕切壁撤去その他改修工事	423千円
	物品類運搬等業務委託	994千円
	物置移設業務委託	123千円
	樹木伐採等業務委託	788千円
	LAN配線撤去復旧業務委託	100千円
事務費等		1,434千円
合計		163,465千円

小学校における耐震化事業費	合計	171,630千円
	うち前年度からの繰越	163,465千円
	他に次年度への繰越	85,795千円

2. 中学校における耐震化事業費

- 耐震基本計画策定及び耐震補強工事の実施設計にかかる経費

学校名	内容	事業費
一箕中学校	校舎南・西・北棟耐震基本計画策定業務委託	7,506千円
第五中学校	西棟耐震補強工事实施設計業務委託	4,536千円
合計		12,042千円

- 耐震補強工事にかかる経費

学校名	内容	事業費
第一中学校	北棟耐震補強工事	81,593千円
	北棟耐震補強電気設備工事	11,312千円
	北棟耐震補強機械設備工事	34,992千円
	事務費等	2,196千円
合計		130,093千円

中学校における耐震化事業費	合計	142,135千円
	うち前年度からの繰越	130,093千円
	他に次年度への繰越	111,931千円

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
(仮称)河東学園中学校校舎等建設事業費 (28～29年度継続) (教育総務課)	859,697	120,817	736,200		2,680
説 明					
○ 新市建設計画に基づき、平成28年度から平成29年度の2ヵ年継続事業として、(仮称)河東学園中学校の建設に着手しました。必要な耐震性の確保や施設の老朽化解消を図るとともに、生徒が安全で安心な学校生活を送ることが出来る環境の整備を進めています。					
[経費内訳]					
内 容		事 業 費			
管理棟新築工事		231,680 千円			
教室棟新築工事		238,890 千円			
校舎電気設備工事		40,950 千円			
校舎給排水衛生設備工事		29,750 千円			
校舎暖房設備工事		50,090 千円			
校舎情報設備工事		21,160 千円			
屋内運動場新築工事		226,710 千円			
屋内運動場電気設備工事		12,930 千円			
屋内運動場給排水衛生設備工事		5,610 千円			
事務費等		1,927 千円			
合 計		859,697 千円			
		他に次年度への繰越		2 千円	
2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業費 (スポーツ推進課)	481			481	
説 明					
○ 2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、本市のスポーツと産業の振興、風評払拭、並びに本市の魅力を世界に発信できるよう、タイ王国に対して事前キャンプや関連事業等の実施について交渉等を実施しました。					
[主な事業内容と成果]					
1. 駐日タイ王国大使館と4回にわたり事前キャンプ誘致に向けた交渉を行いました。 ・本市の概況やスカーフ施設等について中央の資料を作成し、わかりやすい説明を行いました					
2. 市長と駐日タイ王国大使の会談を2回実施しました。 ・本市での事前キャンプ実現に向け、大使館側の全面的協力を約束いただきました。					
3. 国より、タイ王国のホストタウンとして認定されました。 ・のぼり旗を作成し、タイ王国との交流に対する機運醸成を図りました。					
4. 2020東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合の正会員となりました。 ・経済界との連携など関連事業への参加が可能となりました。					
5. 市長によるタイ王国トップセールスを実施しました。 ・タイ王国スポーツ庁と連絡・調整ができる環境が整いました。					